

TORO®

EU 適合キット

マルチプロ 1750 ターフスプレーヤ

モデル番号41209

オペレーターズマニュアル

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

EU 適合キットは、ドイツの安全要求に適合するためのキットであり、液剤散布車のオペレータが散布システムに残っている化学物質を洗浄除去し、液剤タンクをバイパスして機体外部を洗浄できるようにするものです。このキットは、芝生に液剤を散布するための専用装置のためのキットであり、そのような業務に従事するプロのオペレータが運転操作することを前提として製造されています。

この製品は、関連するEU規制に適合しています；詳細については、DOC シート（規格適合証明書）をご覧ください。

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解してください。オペレータや周囲の人の人身事故や製品の損傷を防ぐ上で大切な情報が記載されています。製品の設計製造、特に安全性には常に最大の注意を払っておりますが、この製品を適切かつ安全に使用するのはお客様の責任です。

安全について

この説明書では、危険についての注意を促すための警告記号図 1を使用しております。死亡事故を含む重大な人身事故を防止するための注意ですから必ずお守りください。



図 1

1. 危険警告記号

この他に2つの言葉で注意を促しています。 **重要** 「重要」は製品の構造などについての注意点を、**注** はその他の注意点を表しています。

この他、散布車両のオペレーターズマニュアルに記載されている安全事項や操作手順もよくお読みください。

薬剤の安全管理

▲警告

この散布装置で取り扱う農薬は人体や動植物、土壤などに危険を及ぼす可能性があるので取り扱いには十分注意すること。

- 自分自身の安全を守るために、農薬を取り扱う前に、容器に張ってあるラベルや安全データシートなど取り扱い上の注意をよく読んで理解し、薬剤メーカーの指示を守る。たとえば、保護めがね（ゴグル）、手袋など、薬剤との接触を防止し危険から身を守ることのできる適切な保護対策を講じる。
- 散布する薬剤は一種類とは限らないので、取り扱っているすべての薬剤に関して注意事項を必ず確認する。
- 上記安全確保に必要な情報が手に入らない場合には、この装置の運転を拒否すること！
- 散布装置の取り扱いを開始するまえに、その装置を前回使用したあとに薬剤メーカーの指示に従って3回のすすぎ洗いや必要な中和処理が行われたかを確認すること。
- 十分な量の水と石鹼を身近に常備し、薬剤が皮膚に直接触れた場合には、直ちに洗い流すこと。
- 薬剤の取り扱いに関する適切な教育訓練を受けてください。
- 目的にあった適切な薬剤を使用してください。
- 薬剤を安全に使用するために、薬剤メーカーの指示を必ず守ってください。
- 薬剤の取り扱いは換気のよい場所で行ってください。
- 作業にあたっては保護めがね（ゴグル）など、メーカーが指定する安全対策を必ず実行してください。皮膚の露出ができるだけ小さくしてください。
- いつでも、特に薬剤タンクに薬液を作るときに、真水を手元に用意してください。
- 薬剤を取り扱い中は、飲食や喫煙をしないでください。
- 作業終了後は直ちに手足や露出部をよく洗ってください。



- ・ 使用しなかった薬液や薬剤容器は、メーカーや地域の規則に従って適切に廃棄してください。
- ・ 薬剤や薬剤からの蒸気は危険です。絶対に、タンクの中に入ったり、頭を入れたり、タンクの上に顔をさらしたりしないでください。
- ・ 国や自治体などの法律や規則を守って散布作業を行ってください。

ハンドスプレーヤ使用時の安全確保

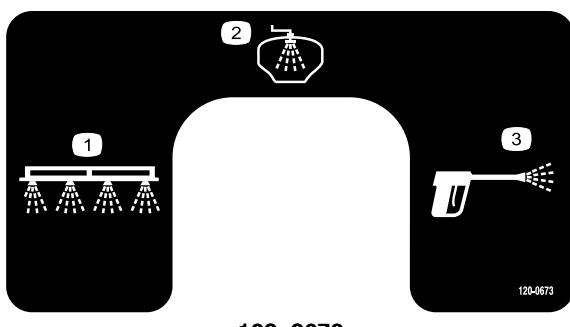
- ・ ハンドスプレーヤを人や動物に向けないでください。高圧の液体は皮膚を貫通して重傷を引き起こす恐れがあり、身体部の切断や死亡に至ることもあります。また高温になった液体や薬品はやけどを起こすことがあります。万一、薬液の噴射流に触れた場合は直ちにこの種の事故に詳しい医師の診察を受けてください。
- ・ スプレーの前に手などを出さないようにしてください。

- ・ 作業場を離れる時は機器に水圧が掛かった状態で放置しないでください。
- ・ ホースやトリガーロック、ノズルなど部品に少しでも損傷や欠落がある場合は、ハンドスプレーヤを使用しないでください。
- ・ ホースやフィッティングなどの部品に少しでも漏れが発生している場合は、ハンドスプレーヤを使用しないでください。
- ・ 送電線の近くでは散布しないでください。散布水流が電線に触れて感電死する恐れがあります。
- ・ 車両を運転しながらハンド・スプレーヤで散布作業をしないでください。
- ・ 薬品をハンド・スプレーヤで散布する時は、ゴム手袋、安全ゴーグル、全身保護スーツを着用してください。
- ・ 機械が落雷を受けると最悪の場合死亡事故となります。稲光が見えたり雷が聞こえるような場合には機械を運転しないで安全な場所に避難してください。

安全ラベルと指示ラベル

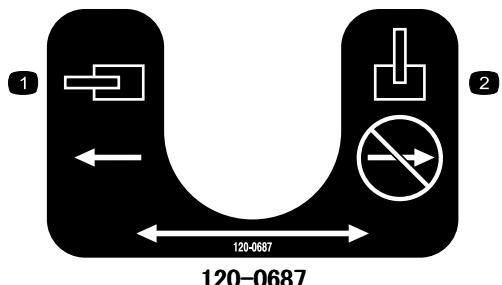


以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。読みなくなつたものは必ず新しいものに貼り替えてください。



1. ブームスプレー
2. すすぎタンク
3. ハンドスプレー

120-0673



1. バルブ(開)
2. バルブ(閉)

組み立て

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	-	マシンの準備を行います。
2	すすぎタンク用左側ブラケット すすぎタンク用右側ブラケット ワッシャ(大) フランジナット キャリッジボルト(3/8 x 1 インチ) キャリッジボルト(3/8 x 1.25 インチ) すすぎタンク リテナフオーク バルクヘッド・フィッティング 90° のホースバーブ	1 1 2 5 2 3 1 1 1 1	すすぎタンクを取り付けます。
3	すすぎノズル・ホースバーブ プラスチック製フランジナット バルクヘッド・フィッティング すすぎ用ノズル ブッシュ すすぎベーン(羽根車) ショルダボルト	2 2 2 2 2 2 2	すすぎ用ノズルを取り付けます。
4	すすぎポンプ取り付けブラケット すすぎポンプ キャリッジボルト ナイロック ワッシャ ボルト ポンプのホースバーブ バルブマウント 圧力フィルタ ホースバーブ ニップル ヘアピン(小) フランジ付きウィズナット	1 1 2 2 4 4 1 1 1 1 2 4	すすぎポンプを取り付けます。

手順	内容	数量	用途
5	フォーウェイ(4叉)バルブ ホースバーブ・フィッティング(1インチ NPT x 3/4インチ HB) 90° ホースバーブ・フィッティング ホースバーブ・フィッティング(3/4インチ NPT x 1/2インチ HB) 縮径フィッティング フェースプレート・ブラケット バルブマウント・アセンブリ ボルト(6 mm) 平ワッシャ(6 mm) ロックナット(6 mm) ナット(9.5 mm) ボルト(9.5 mm)	1 1 2 1 1 1 1 4 4 4 2 2	フォーウェイ(4叉)バルブの組み立てと取りつけを行います。
6	ヒューズ, 40 A ダッシュボード・スイッチ	1 1	ダッシュボードスイッチとヒューズを取り付けます。
7	ボールバルブ ホースバーブ・フィッティング バルブマウント・ブラケット 六角ヘッド・ボルト(6 mm) 六角ヘッド・ボルト(5/16 x 0.613インチ) フランジナット(6 mm)	1 2 1 2 2 2	ボールバルブと取りつけアセンブリを取り付けます。
8	Oリング 90° のホースバーブ 圧力フィルタ フォーク	1 1 1 1	圧力フィルタ・アセンブリを取り付けます。
9	S67 コネクタ 90° ホースバーブ・フィッティング T字フィッティング リデューサ(縮径フィッティング) S53 フォークピン Oリング	1 1 1 1 3 4	T字アセンブリを取り付けます。
10	圧送側ホース(914 mm, 内径 19 mm) ホースクランプ	1 2	ボールバルブとフォーウェイ(4叉)バルブをつなぐホースを取り付ける。
11	ブームホース(1118 mm, 内径 19 mm) ホースクランプ	1 2	T字アセンブリとボールバルブをつなぐホースを取り付けます。
12	ホース(610 mm) ホースクランプ	1 2	圧力フィルタ・アセンブリとフォーウェイ(4叉)バルブをつなぐホースを取り付けます。
13	ホース(610 mm) T字フィッティング ホースクランプ	2 1 4	T字マウントホースを取り付けます。
14	すすぎノズルホース(724 mm, 内径 19 mm) ホースクランプ	1 2	フォーウェイ(4叉)バルブからスプリンクラー・ティーへホースを取り付けます。
15	長いホース(762 cm, 内径 13 mm) スプレーガン ホースクランプ スプレーガンのホースバーブ	1 1 1 1	スプレーホースとガンを接続します。

手順	内容	数量	用途
16	ホース(114 cm) ホースクランプ コンジット	1 2 1	すすぎタンク用ホースを取り付けます。
17	ステッカー(120-0673) デカル(120-0687)	1 1	ステッカーを貼り付けます。

注 フィッティングを取り付ける時に、フィッティングのねじ山部分にテフロンテープを巻きつけてください。テープの巻き方は、ねじ山の根元部分から始めて左から右に（フィッティングを軸方向に上から見たときに、フィッティングの根元から先端に向かって右回りに）なるようにします。

注 また、ホースフィッティングの端部が鋸状になっている部分には、非石油系の潤滑剤（植物油など）を塗つておくと、キットの取りつけを楽に進めることができます。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

- 散布車を平らな場所に駐車し、駐車ブレーキを掛け、ポンプとエンジンを停止し、キーを抜き取る。
- タンクと配管内部に残っている薬液を排出する。詳細についてはオペレーターズマニュアルを参照のこと。

注 薬液を排出した後でも、ホースの一部に薬剤が残っている可能性がありますから、ホースを取り外す際には十分に注意し、またバケツなどを用意しておいてください。

△ 注意

農薬は人体に危険を及ぼす恐れがある。

- 農薬を使う前に、農薬容器に張ってあるラベルをよく読み、メーカーの指示を全て守って使用する。
- スプレーを皮膚に付けない。万一付着した場合には真水と洗剤で十分に洗い落とす。
- 作業にあたっては保護ゴーグルなど、メーカーが指定する安全対策を必ず実行する。

2

すすぎタンクを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	すすぎタンク用左側ブラケット
1	すすぎタンク用右側ブラケット
2	ワッシャ(大)
5	フランジナット
2	キャリッジボルト(3/8 x 1 インチ)
3	キャリッジボルト(3/8 x 1.25 インチ)
1	すすぎタンク
1	リテナフォーク
1	バルクヘッド・フィッティング
1	90° のホースバーブ

すすぎタンク固定ベルト用金具およびスプレー用ブラケットを取り付ける

- タンク前部固定ベルトをタンク上部に固定している締結具を外す。再利用するので捨てないこと。Rクランプを固定していた短いキャリッジボルトとナットは廃棄する。
- タンク前部固定ベルトの内側の穴にキャリッジボルト(2本)を取り付ける(図2)。

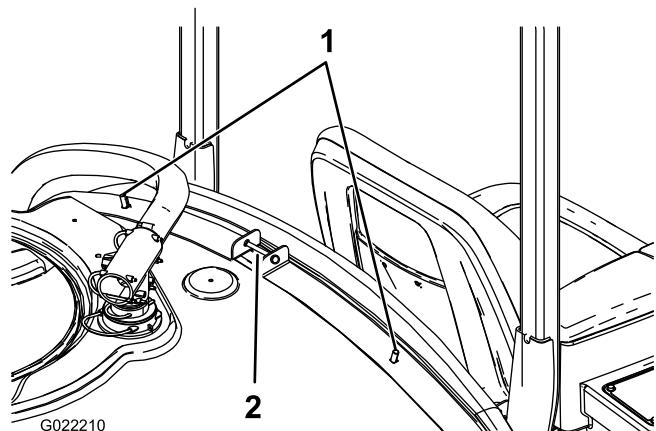


図 2

- キャリッジボルト(3/8 x 1.25 インチ)
- タンク固定ベルト用締結具

- スプレー用ブラケットとホースマウントを取り付ける(図3)。

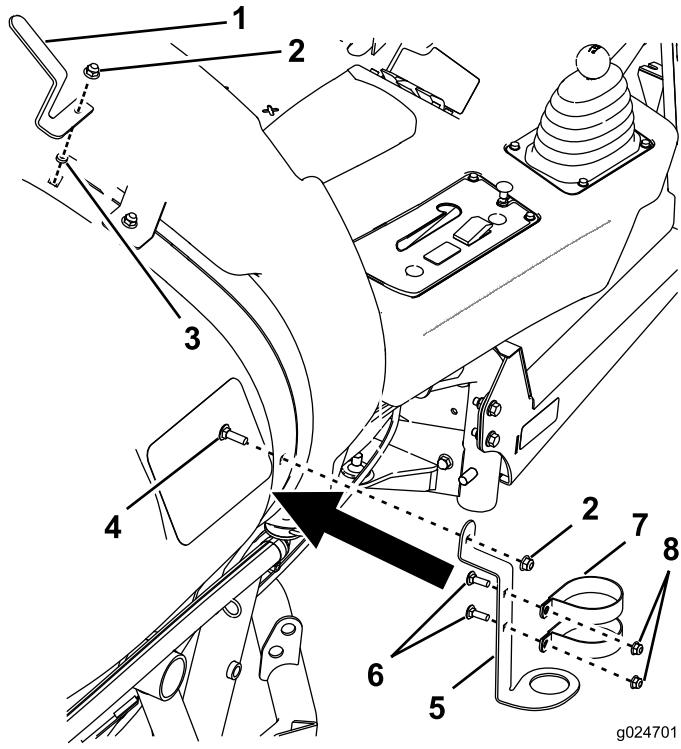


図 3

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. ホースマウント | 5. ハンドスプレー用ブレケット |
| 2. ナット | 6. キャリッジボルト(3/8 x 1インチ) |
| 3. ワッシャ | 7. クランプ |
| 4. キャリッジボルト(3/8 x 1.25インチ) | 8. ナット |

4. 先ほど外した、タンク固定ベルト用の締結具を使って、タンク固定ベルトをタンクに固定する。

注 各ベルトがタンクに確実に固定されていることを確認する。締めすぎないように注意すること。タンク固定ベルトを締め過ぎないこと。

すすぎタンクを取り付ける

1. すすぎタンクにバルクヘッド・フィッティングを取り付ける(図 4)。

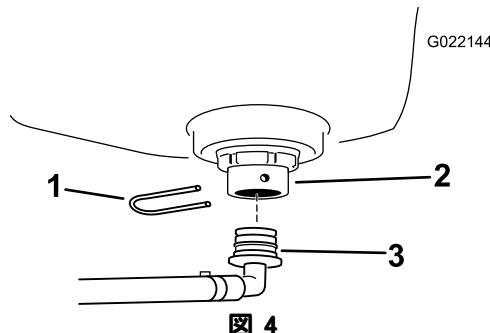


図 4

- | | |
|-------------------|-----------------------------------------|
| 1. リテーナフォーク | 3. 90° のホースバーブ |
| 2. バルクヘッド・フィッティング | |
| | 3. 運転席後部の、すすぎタンクを取り付ける場所についているガードを取り外す。 |
| | 3. すすぎタンクを取り付ける(図 5)。 |

注 真水タンクを取り外す必要があるかもしれません。

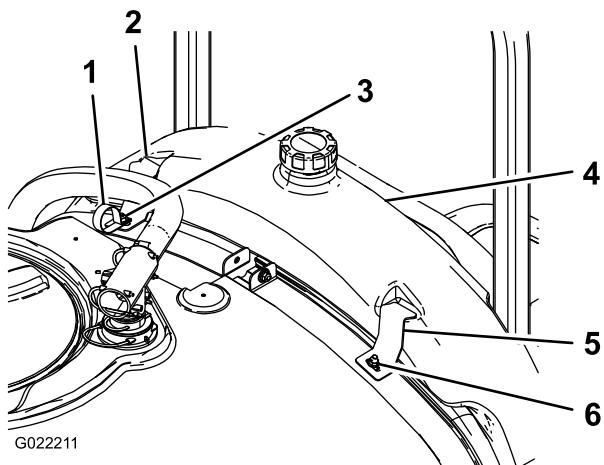


図 5

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. R クランプ | 4. すすぎタンク |
| 2. すすぎタンク用左側ブレケット | 5. すすぎタンク用右側ブレケット |
| 3. フランジナット | 6. フランジナット |

4. フランジナット2個を使って、すすぎタンクブレケットを、先ほど取り付けたキャリッジボルトに取り付ける(図 5)。

注 この時に、Rクランプを交換する。

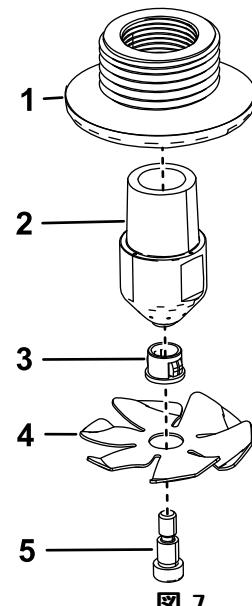
注 すすぎタンクに水を一杯に入れると、水の重量のためにタンクがさらに沈む場合がありますので、タンク固定ベルトの状態をもう一度点検し、必要に応じて増し締めを行ってください。

3

すすぎ用ノズルを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	すすぎ用ノズル・ホースバー
2	プラスチック製フランジナット
2	バルクヘッド・フィッティング
2	すすぎ用ノズル
2	ブッシュ
2	すすぎペーン(羽根車)
2	ショルダボルト



G022281

図 7

メインタンクに穴を開ける

- タンクの蓋を開けてフィルタバスケットを取り外す。
- メインタンクについているドリルマーク(2つ)を探し出す(図6)。

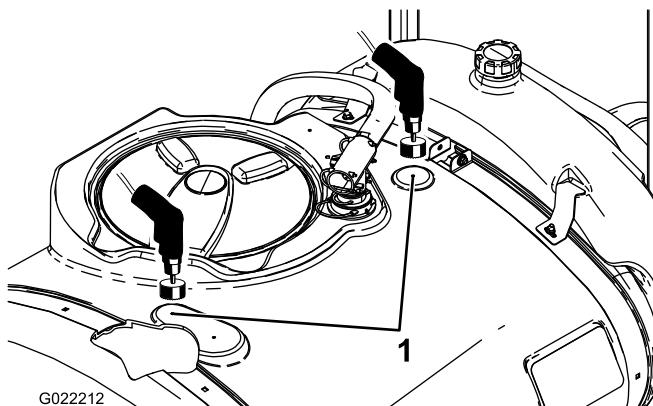


図 6

- ドリルマーク
- 4 cm の円形ノコを使って、それぞれのマークのところに穴を切る。

注 ドリル作業時に出る削りかすを回収するために、タンクの内側の、ドリルで穴を開ける位置の下に回収容器を取り付けてください。

重要 タンク内部に削りかすなどを残すと配管を詰まらせるなどのトラブルが発生する可能性が高くなります。

注 左回転でドリル作業を行うと楽にできます。

すすぎ用ノズルを取り付ける

- 図7のようにすすぎ用ノズル2個を取り付ける。

- バルクヘッド・フィッティング
- すすぎ用ノズル
- ブッシュ
- すすぎペーン(羽根車)
- ショルダボルト

- 先ほどあけた穴の下から上へ、ノズル・アセンブリを通して取り付ける(図8)。

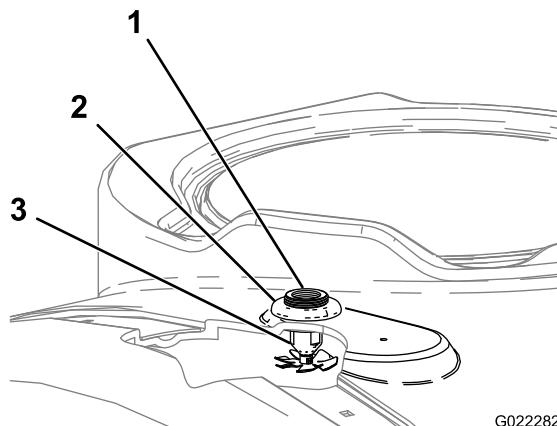


図 8

- バルクヘッド・フィッティング
- プラスチック製フランジナット
- すすぎノズル・アセンブリ

- タンク上部のバルクヘッドのねじ山に、プラスチック製フランジナットを取り付ける(図8)。

注 バルクヘッドのフィッティングとタンクの下との間のシールが正しく入っていることを確認する。

- すすぎノズル・バルクヘッドの、ねじ切りされている開口部にすすぎノズル・ホースバー(2個)を取り付ける(図9)。

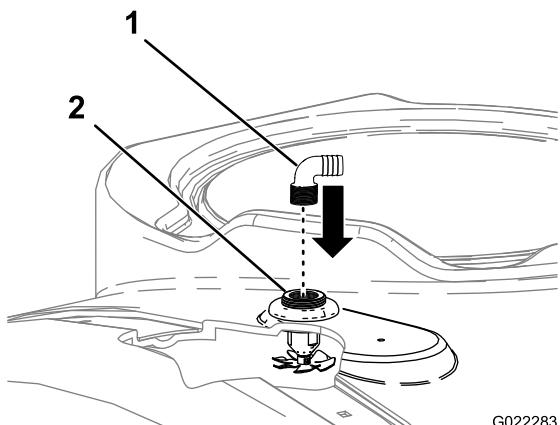


図 9

G022283

1. すすぎノズル・ホースバーブ 2. すすぎ用ノズル・アセンブリ

5. ホースのバーブ（鋸歯部）を、機体右側中央部に向ける。

4

すすぎポンプを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	すすぎポンプ取り付けブラケット
1	すすぎポンプ
2	キャリッジボルト
2	ナイロック
4	ワッシャ
4	ボルト
1	ポンプのホースバーブ
1	バルブマウント
1	圧力フィルタ
1	ホースバーブ
1	ニップル
2	ヘアピン（小）
4	フランジ付きウィズナット

手順

- タンク後部固定ベルトをタンク上部に固定している締結具とヘアピンを外す。外した部品は捨てない。
- 右側のタンク固定ベルトにキャリッジボルト（2本）を取り付ける（図 10）。

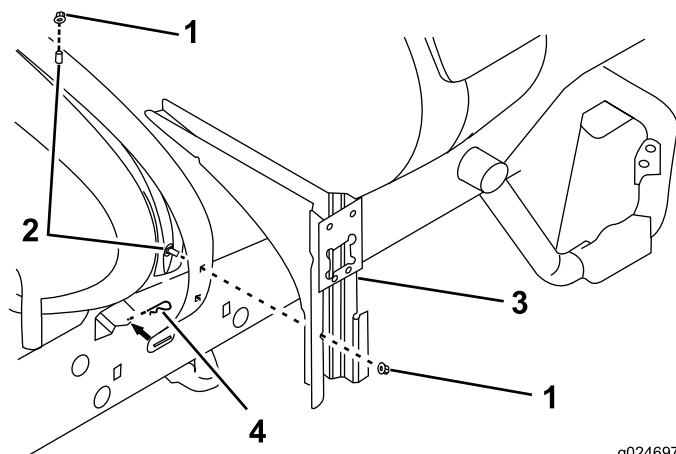


図 10

g024697

1. ナット
2. キャリッジボルト
3. バルブマウント
4. ヘアピン

- 先ほど外した、タンク固定ベルト用の締結具とヘアピンフックを使って、タンク固定ベルトをタンクに固定する。
ベルトがタンクに確実に固定されていることを確認する。締めすぎないように注意すること。
- 先ほどとりつけたキャリッジボルトに、バルブマウントを取り付ける；フランジナット2個を使用する（図 10）。
- 圧力フィルタ・アセンブリを組み立てる（図 11）。

注 ホース・フィッティングの端部（鋸状になっている）に植物油などを塗っておくと楽に接続することができるでしょう。

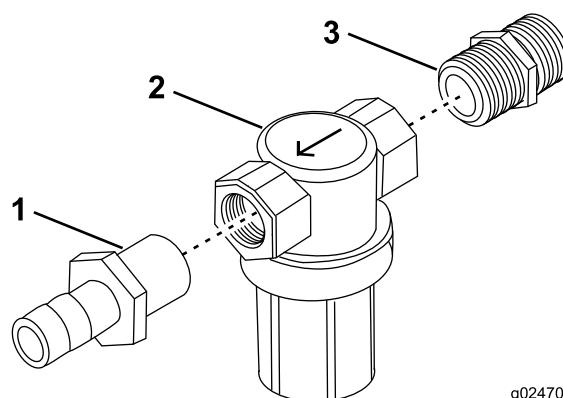


図 11

g024704

1. ホースバーブ
2. 圧力フィルタ
3. ニップル

- 圧力フィルタ・アセンブリをすすぎポンプに取り付ける（図 12）。

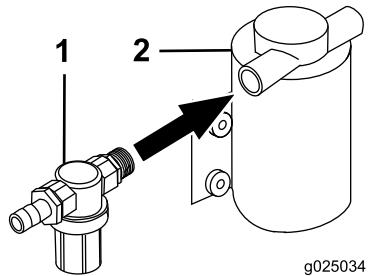


図 12

1. 圧力フィルタ・アセンブリ 2. すすぎポンプ

7. ポンプをフレームに固定する；すすぎポンプ取りつけブラケットとボルト（4本）、フランジ付きウイズナット（4個）、ワッシャ（4枚）を使用する（図 13）。

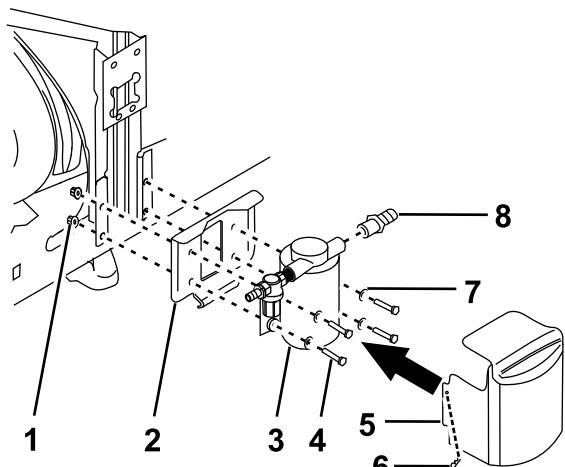


図 13

1. フランジ付きウイズナット 5. すすぎポンプカバー
2. すすぎポンプ取り付けブラケット 6. ヘアピン
3. すすぎポンプ 7. ワッシャ
4. ボルト 8. ホースバーブ

8. ヘアピン2本を使用して、すすぎポンプカバーを固定する。

5

フォーウェイ(4叉)バルブの組み立てと取りつけを行う

この作業に必要なパーツ

1	フォーウェイ(4叉)バルブ
1	ホースバーブ・フィッティング(1インチ NPT x 3/4インチ HB)
2	90° ホースバーブ・フィッティング
1	ホースバーブ・フィッティング(3/4インチ NPT x 1/2インチ HB)
1	縮径フィッティング
1	フェースプレート・ブラケット
1	バルブマウント・アセンブリ
4	ボルト(6 mm)
4	平ワッシャ(6 mm)
4	ロックナット(6 mm)
2	ナット(9.5 mm)
2	ボルト(9.5 mm)

手順

1. フォーウェイ(4叉)バルブを組み立てる（図 14）。

注 ホースバーブの向きが重要です。図 14のようにしてください。

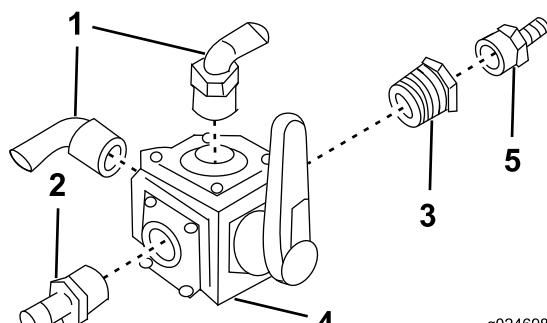


図 14

1. 90° のホースバーブ 4. フォーウェイ(4叉)バルブ
2. ホースバーブ・フィッティング(1インチ NPT x 3/4インチ HB) 5. ホースバーブ・フィッティング(3/4インチ NPT x 1/2インチ HB)
3. 縮径フィッティング(リデューサ)

2. ボルト(6mm; 4本)とワッシャ(6mm; 4枚)を、フォーウェイ(4叉)バルブのスロットにセットする（図 15）。

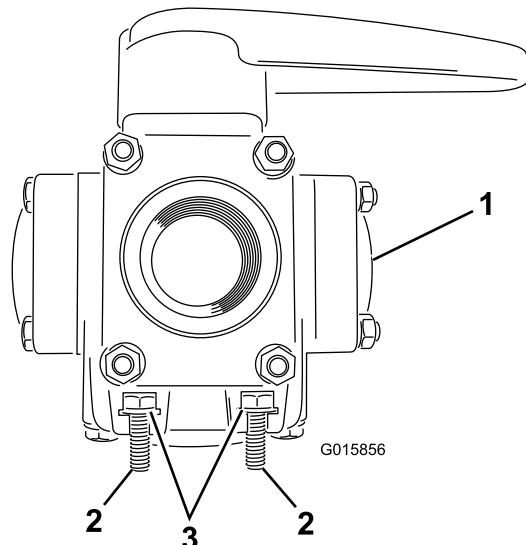


図 15

1. フォーウェイ(4叉)バルブ 3. ワッシャ(4枚)
 2. ボルト(4本)
 3. フォーウェイ(4叉)バルブをバルブマウント・アセンブリに取り付ける；ロックナット(6 mm; 4個)を使用する(図 16)。

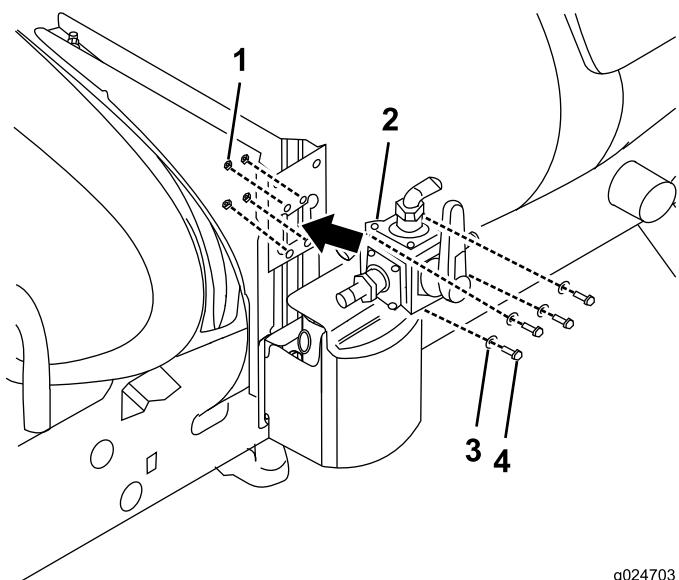


図 16

1. ロックナット 3. ワッシャ
 2. フォーウェイ(4叉)バルブ 4. ボルト
 4. バルブマウント・アセンブリにフェースプレート・ブラケットを取り付ける；フランジボルト(2本)とフランジナット(2個)を使用する(図 17)。

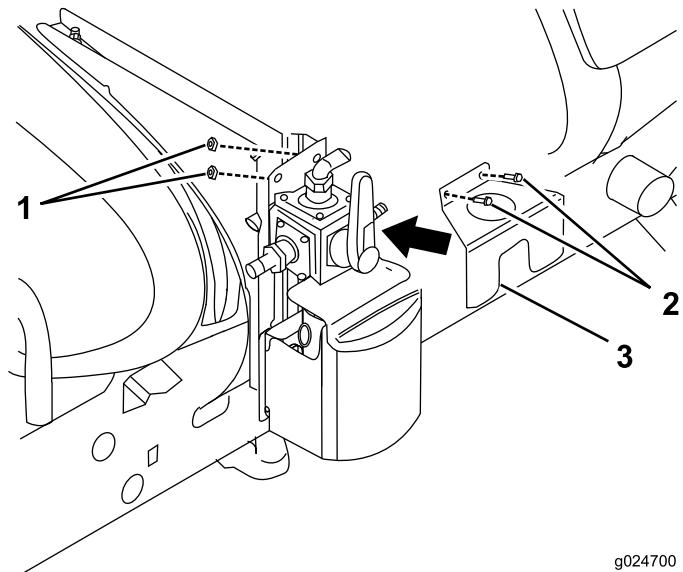


図 17

1. ナット
 2. ボルト
 3. フェースプレート・ブラケット

6

ダッシュボードスイッチとヒューズを取り付ける

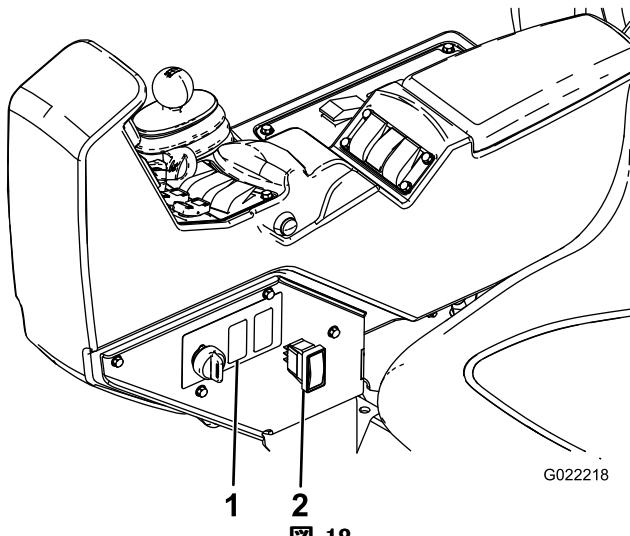
この作業に必要なパーツ

1	ヒューズ, 40 A
1	ダッシュボード・スイッチ

ダッシュボードスイッチを取り付ける

1. ダッシュボード上で、すすぎタンク用スイッチのプラグを探し出す(図 18)。

注 ロックアウトキーの右にある最初のプラグである。



1. ダッシュボード上の穴 2. ダッシュボード・スイッチ

- ダッシュボード上の穴
- ダッシュボード上のプラグを外して穴にする（図 18）。
- ダッシュボードの下から、メイン・ハーネスのうちの Rinse Tank というレベルのついているボックス型コネクタを探し出す。
- ボックス型コネクタを縛り付けているタイを切断してコネクタをダッシュボードの穴にセットする。
- ボックス型コネクタにダッシュボードを通してスイッチを取り付ける（図 18）。
- スイッチをダッシュボードに押し込むようにしてスイッチを取り付ける。
- ヒューズボックスについている 30 A のヒューズを 40 A のものに交換する。

7

ボールバルブと取りつけアセンブリを取り付ける

この作業に必要なパーツ

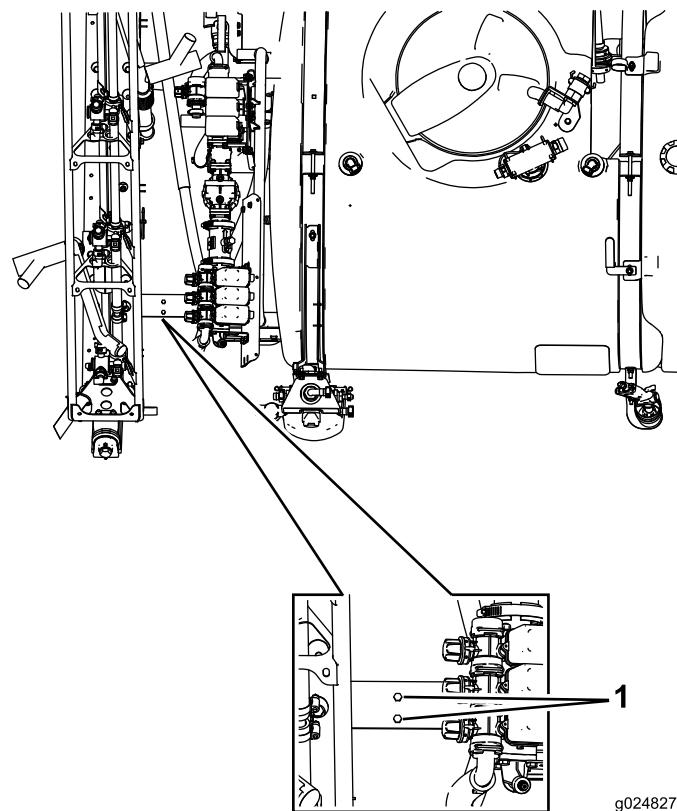
1	ボールバルブ
2	ホースバー・フィッティング
1	バルブマウント・ブラケット
2	六角ヘッド・ボルト (6 mm)
2	六角ヘッド・ボルト (5/16 x 0.613 インチ)
2	フランジナット (6 mm)

手順

- 1/4 インチ (6mm) のドリルで、フレーム2ヶ所に穴を開ける（図 19）。

注 穴は、マシンから2.5インチ (63.5 mm) 離れた位置に開けてください。

注 ボールバルブ・ブラケットを型紙として使用してください。



1. ドリル穴

2. ボールバルブマウント・アセンブリを組み立てる(図 20)。

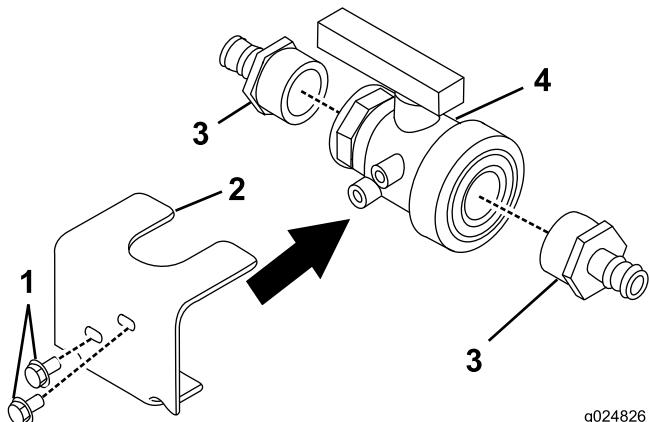
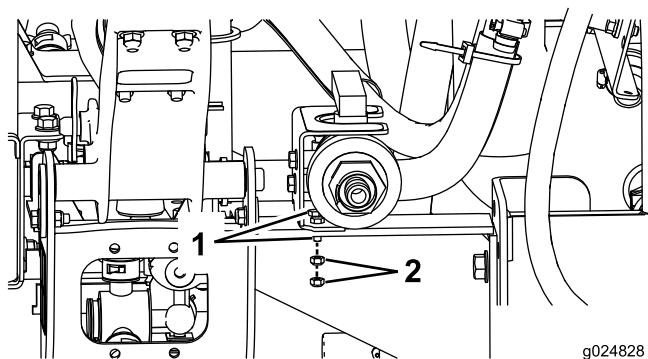


図 20

g024826

1. ボルト(5/16 x 0.613インチ) 3. ホースバーブ
2. ボールバルブブラケット 4. ボールバルブ

3. ボールバルブとバルブマウントブラケットを機体に取り付ける；六角ヘッドボルト(6 mm; 2本)とフランジナット(6 mm; 2個)を使用する(図 21)。



1. ボルト

2. ナット

8

圧力フィルタ・アセンブリを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	Oリング
1	90° のホースバーブ
1	圧力フィルタ
1	フォーク

手順

1. 圧力フィルタ・アセンブリを組み立てる(図 22)。

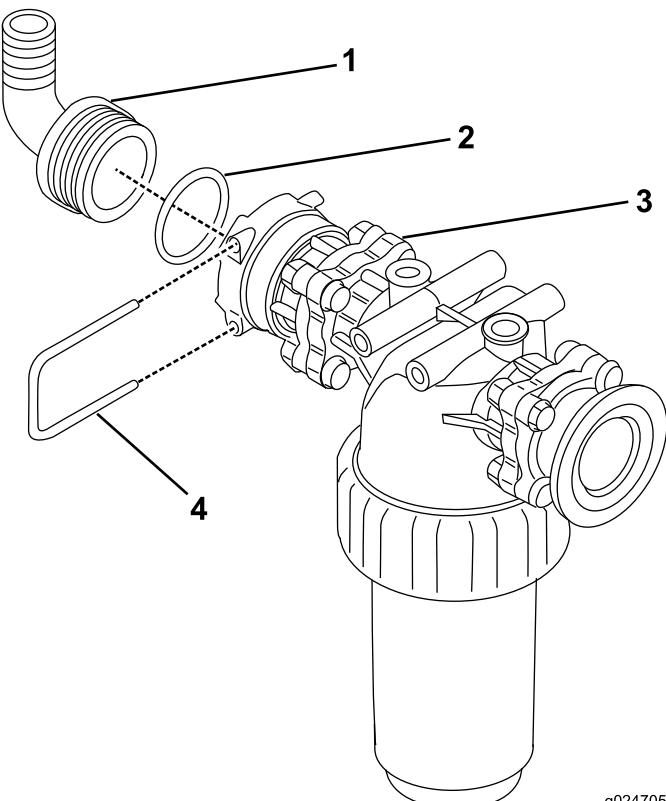


図 22

g024705

1. 90° のホースバーブ 3. 圧力フィルタ
2. Oリング 4. リテーナーフォーク

2. 既存のクランプ、それについているフィッティングとホースを取り外す(図 23)。

注 フィッティングは廃棄するが、クランプとホース(127 mm)は捨てない。

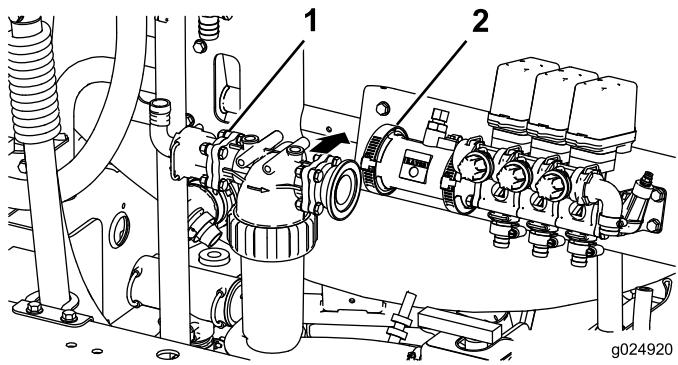


図 23

1. 圧力フィルタ・アセンブリ 2. クランプ

3. 圧力フィルタ・アセンブリを機体に取り付ける（図 23）。
4. ホース（127 mm）を圧力フィルタの 90度ホースバーブに接続し、元々接続されていた攪拌バルブにつなぐ。
5. ホースをクランプで固定する。

9

T字アセンブリを取り付ける。

この作業に必要なパーツ

1	S67 コネクタ
1	90° ホースバーブ・フィッティング
1	T字フィッティング
1	リデューサ（縮径フィッティング）
3	S53 フォークピン
4	Oリング

手順

1. T字マウント・アセンブリを組み立てる（図 24）。

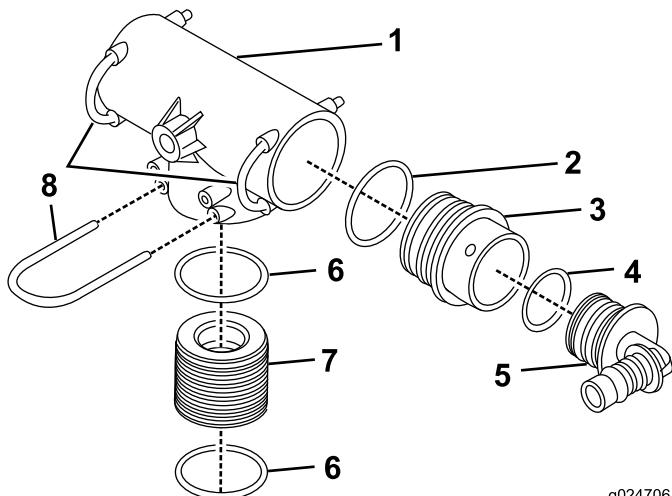


図 24

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. T字フィッティング | 5. ホース マウント |
| 2. Oリング | 6. Oリング |
| 3. リデューサ（縮径フィッティング） | 7. コネクタ |
| 4. Oリング | 8. リテーナフォーク |

2. T字アセンブリを、機体後部の左側下にある T字マウントアセンブリに取り付ける（図 25）。

注 T字マウントに既に付いている 90度ホースバーブを外し、これを、いま取り付けているアセンブリの左側に取り付ける。

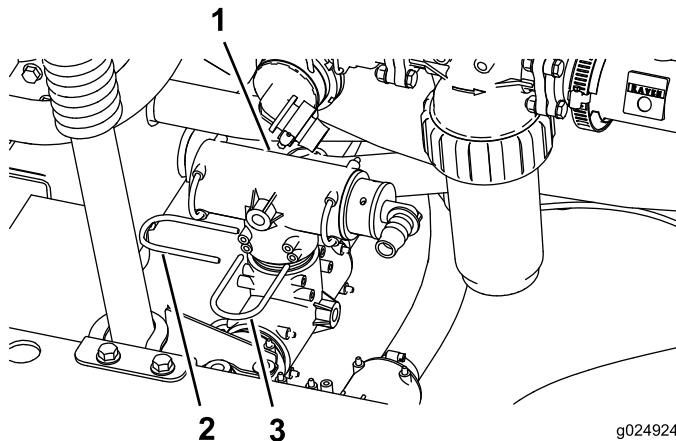


図 25

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. T字アセンブリ | 3. リテーナフォーク |
| 2. リテーナフォーク | |

10

ボールバルブとフォーウェイ(4
又)バルブをつなぐホースを取り
付ける

この作業に必要なパーツ

1	圧送側ホース(914 mm, 内径 19 mm)
2	ホースクランプ

手順

ホースを取り付ける(図 26)。

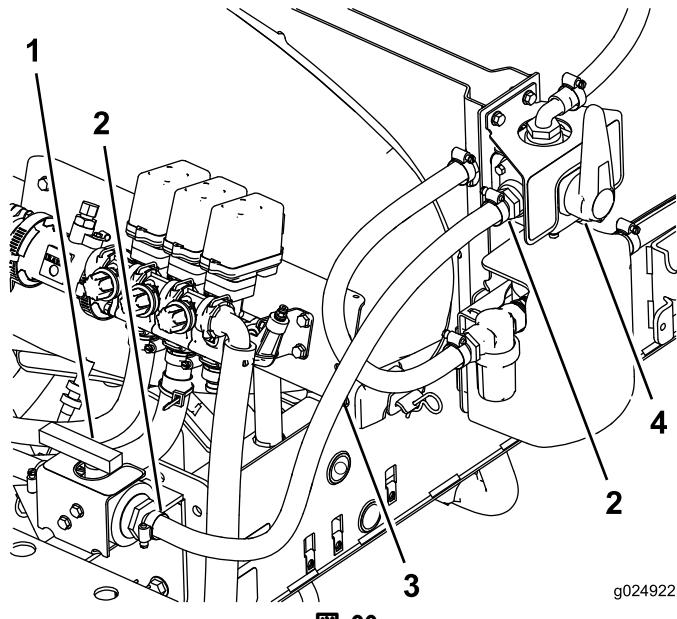


図 26

- | | |
|------------|------------------|
| 1. ボールバルブ | 3. ホース |
| 2. ホースクランプ | 4. フォーウェイ(4又)バルブ |

11

T字アセンブリとボールバルブを
つなぐホースを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ブームホース(1118 mm, 内径 19 mm)
2	ホースクランプ

手順

ホースを取り付ける(図 27)。

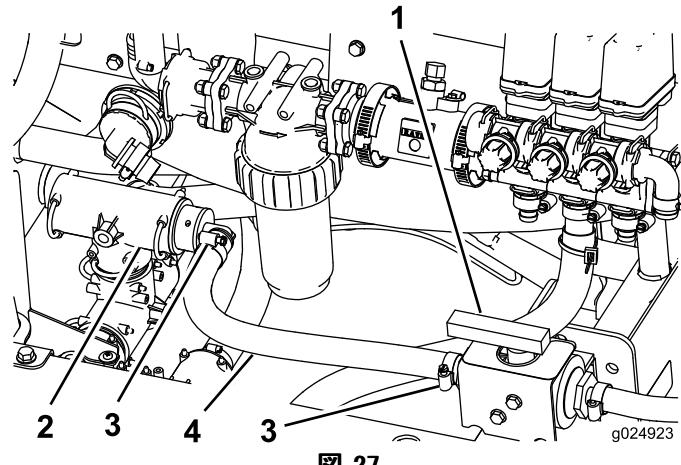


図 27

- | | |
|------------|------------|
| 1. ボールバルブ | 3. ホースクランプ |
| 2. T字アセンブリ | 4. ホース |

12

圧力フィルタ・アセンブリとフォー
ウェイ(4又)バルブをつなぐホー
スを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ホース(610 mm)
2	ホースクランプ

手順

ホースを取り付ける(図 28)。

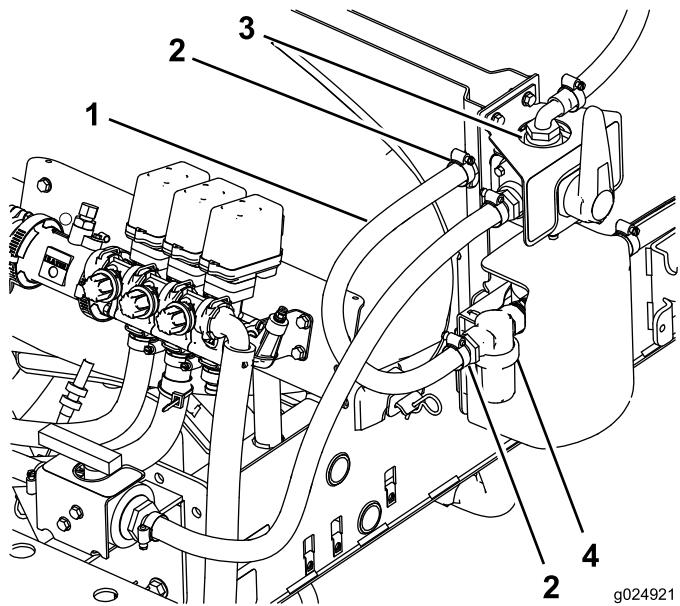


図 28

1. ホース
2. ホースクランプ

3. フォーウェイ(4叉)バルブ
4. フィルタ

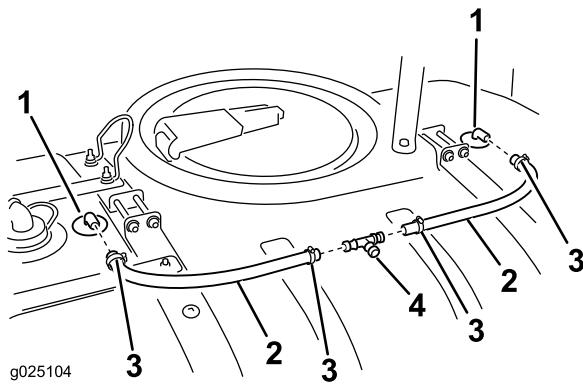


図 29

1. すすぎノズルのバーブ
2. すすぎノズル用ホース
3. ホース・クランプ
4. T字フィッティング

14

フォーウェイ(4叉)バルブからスプリンクラー・ティーへホースを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	すすぎノズルホース(724 mm, 内径 19 mm)
2	ホースクランプ

13

T字マウントホースを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	ホース(610 mm)
1	T字フィッティング
4	ホースクランプ

手順

ホース(610 mm)とT字フィッティングを取り付け(図 29)。

手順

- 付属部品の中から給液ホースを探し出す。
- ホースの両端それぞれにクランプを通す。
- 先ほど取り付けたT字フィッティングの開放端に、ホースを接続する(図 30)。

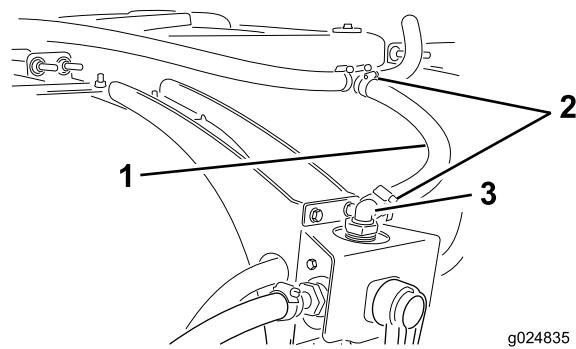


図 30

- 給液ホース
- ホースクランプ
- 90° ホースバーブ・フィッティング
- ホースに取り付けたクランプをバーブ部分に移動させ、バーブの上からクランプを締め込む。

- ホースの反対側の端部を、フォーウェイ(4叉)バルブの上部にある90度ホースバーブに接続する。
- ホースに取り付けたクランプをバーブ部分に移動させ、バーブの上からクランプを締め込む。

15

スプレー ホースとガンを接続する

この作業に必要なパーツ

1	長いホース(762 cm, 内径 13 mm)
1	スプレー ガン
1	ホースクランプ
1	スプレー ガンのホースバーブ

手順

- スプレー ガンを組み立てる(図 31)。

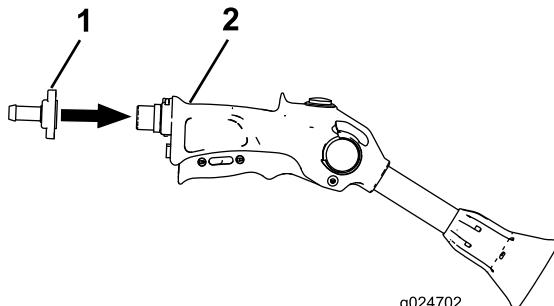


図 31

- スプレー ガンのホースバー 2. スプレー ガン
- ホースの端部をスプレー ガンのフィッティングに接続し、小さいクランプで固定する。
- ホースのもう一方の端部を、フォーウェイバルブの右側のホースバーブに接続し、小さいクランプで固定する。
- ホースをタンクのフックに巻きつけ、スプレー ガン・プラケットにガンをセットする。

16

すすぎタンク用ホースを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ホース(114 cm)
2	ホースクランプ
1	コンジット

すすぎタンク用ホースを取り付ける

- すすぎタンクホースを、タンク前部固定ベルトとタンクの側面との間に通す(図 32)。

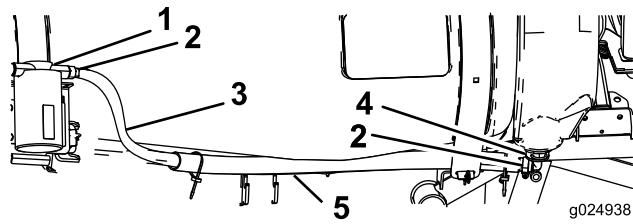


図 32

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. すすぎポンプ | 4. すすぎタンクホースバーブ |
| 2. ホースクランプ | 5. コンジット |
| 3. ホース | |

- ホースの端部を、すすぎポンプの下側ホースバーブに接続する；ホースクランプを使用する(図 32)。

17

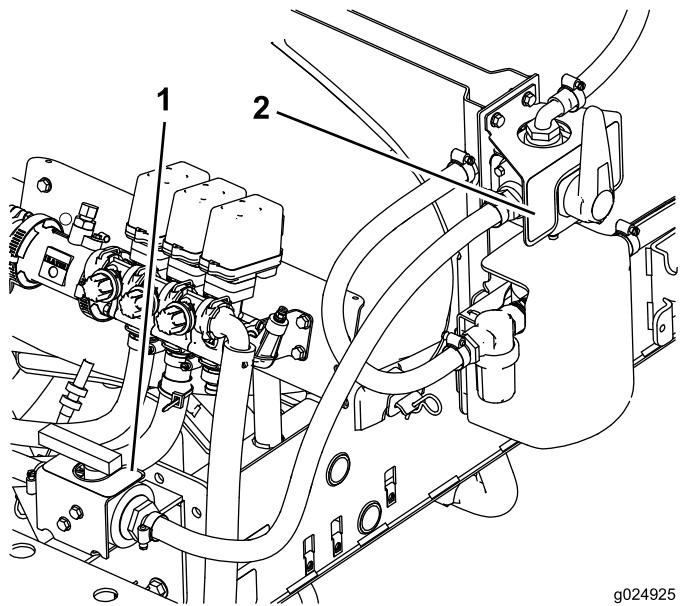
ステッカーを貼り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ステッカー(120-0673)
1	デカル(120-0687)

手順

- ステッカー(2枚)を貼り付ける場所を十分にきれいにする(図 33)。



g024925

図 33

-
- 1. ステッカー(120-0687) 2. ステッカー(120-0673)
 - 2. ステッカーの裏側についている台紙を剥がし、機体にステッカーを貼り付ける(図 33)。
 - 3. 各バルブの設定位置が明確にわかるようにステッカーの貼り付け位置を決めること。

運転操作

タンク洗浄リス・キットの使用方法

このタンク洗浄すすぎキットを使用すると、タンク内にすすぎ液、すなわち、残存薬剤の薄い液ができます。多くの場合、すでに薬剤を散布し終わった場所にこの薄い薬剤を散布することに問題はありません。

ません。しかしながら、様々なケースが考えられますので、すでに薬剤を散布し終わった場所に、薄い薬剤を散布することで薬剤の効果に悪影響がないかどうかを、事前に薬剤メーカーに確認するようしてください。

重要 水和剤を使用する時、水和剤をメインタンクに正しい方法で投入しないと、剤を配管などに詰まらせてしまう可能性がありますが、このタンク洗浄すすぎキットは、そのような詰まりを除去するためのものではありません。

すすぎを行うための各バルブの操作

注 バルブは、必ず以下に示す位置にセットし、これ以外の位置にはセットしないでください。

- 以下はタンクすすぎ用の設定です（図 34）。この設定では、すすぎノズルからすすぎ水がタンク内部に散布されます。

注 通常の液剤散布時にも、ボールバルブはこの位置にセットします。

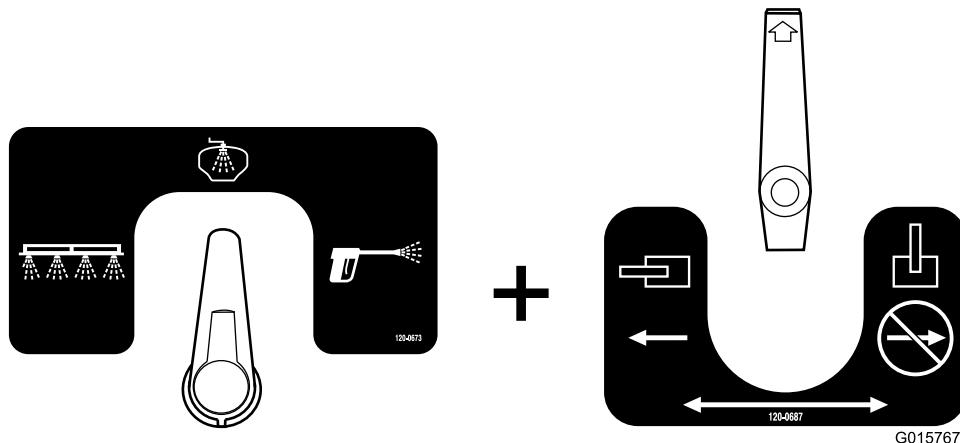


図 34
フォーウェイバルブ + ボールバルブ

- 以下はスプレーガンすすぎ用の設定です（図 35）。この設定では、ハンドスプレーガンからすすぎ水が散布されます。

注 通常の液剤散布時にも、ボールバルブはこの位置にセットします。

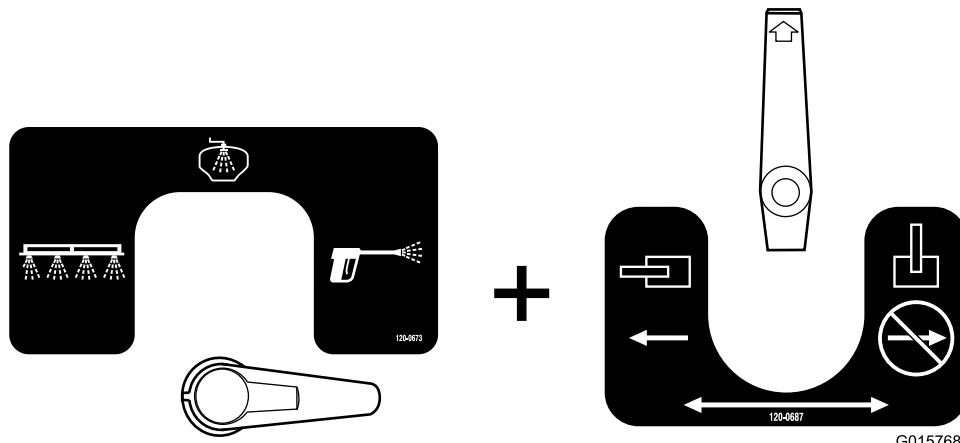


図 35
フォーウェイバルブ + ボールバルブ

- 以下はブームすぎ用の設定です（図 36）。この設定では、ブームからすすぎ水が散布されます。
- 重要** メイン（薬液）ポンプを使用する時には、ボールバルブをこの位置にセットしないでください。

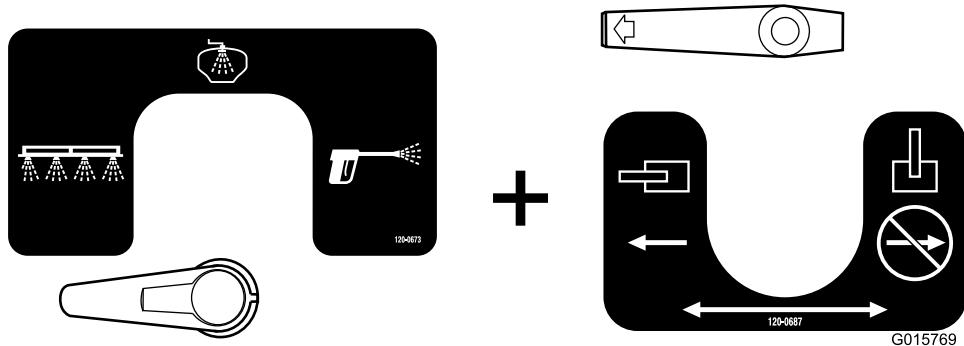


図 36
フォーウェイバルブ + ボールバルブ

各部の名称とはたらき

タンク洗浄すすぎキットは、1個のスイッチ（3ポジション）で操作します。

- 上位置**：すぎポンプが ON になり、スイッチはこの位置でロックし、遅延タイマーが作動します。
- ニュートラル**：すぎポンプは OFF になり、スイッチは中間位置になります。
- 下位置**：すぎポンプが ON になりますが、スイッチを手でこの位置に保持しないとポンプは停止します；遅延タイマーは作動しません。

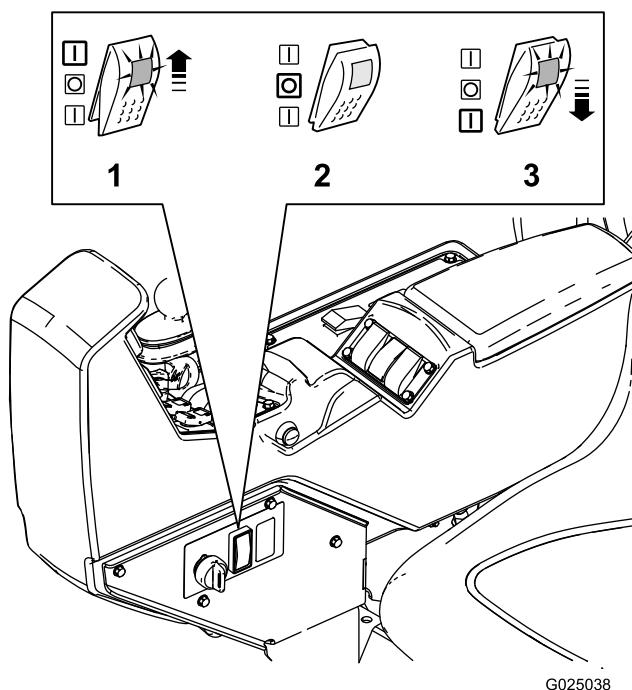


図 37

1. 上位置：タイマー作動すすぎ位置
2. ニュートラル：OFF 位置
3. 下位置：手動すすぎ位置

スイッチを **上** 位置にするとタイマーによる自動すすぎが行われます。ポンプが 60 秒間作動し、すぎタンクの約 1/3 の量の水がメインタンクに送られます。この間、スイッチは上位置にあります。60秒後に、ポンプは停止します。スイッチ自体は上位置のままで、手動で中央位置または手動位置に動かしてください。

スイッチが **ニュートラル** 位置にある時は、ポンプに通電されないので、すぎキットは OFF 状態です。

スイッチを **下** 位置にすると手動すすぎが行われます。スイッチを押している間だけ、ポンプが作動します。スイッチから手を離すと、スイッチはニュートラル位置に戻り、ポンプは停止します。スイッチを下位置に保持している間、ポンプが作動します。

タンクに水を入れる

平らな場所に駐車し、駐車ブレーキを掛け、ポンプとエンジンを停止し、キーを抜き取る。

すぎタンクのキャップを外し、タンクに一杯（約 66 リットル）の真水を入れてください。キャップを元通りに取り付けます。

重要 すぎタンク（66 リットル・タンク）にはきれいな真水以外は入れないでください。真水以外のものを入れると、安全上の問題や、装置の不具合が発生する可能性があります。

すぎサイクルの操作方法

すぎサイクルを使用すると、移動走行を行いながらすすぎを実行することができます。

1. すぎポンプを ON にする：
 - タイマーによる自動すすぎを行う場合には、スイッチを上位置にセット。
 - 希望する時間だけポンプを作動させたい場合にはスイッチを下位置に押す。

2. タンクに約 22 リットルほどの水が入ったころを見計らって、攪拌スイッチを ON にして攪拌ループに真水を送るとよい。
3. すぎが終わったら、液は、法律に従って処分する。処分方法としては:
 - ・ メインタンクが空になるまで、すぎ液をブームから散布する。
 - ・ または、メインタンクのドレンバルブを開いて、適切な容器にすぎ液を回収して処分する。

このすぎサイクルを、あと 2 回繰り返すことができます。

保守

すぎポンプのフィルタを点検する

整備間隔: 使用開始後最初の 5 時間

50運転時間ごと

フィルタに破損の兆候がないか点検してください。破損している場合には交換してください。

すぎシステムに漏れや破損がないか点検する

整備間隔: 使用するごとまたは毎日-ホースから液もれがないか点検してください。

使用開始後最初の 5 時間-ホースに破損がないか点検する。

100運転時間ごと-ホースと O リングに破損がないか点検してください。

最初の 5 運転時間後、すべてのホースについて、漏れの有無および破損の兆候がないか点検してください。ホースのクランプと、リテナフオークを点検してください。どの接続部もゆるみがないことを確認してください。破損している部品はすべて交換してください。以上の点検を、すぎシステムを使用する前に毎回実施してください。

100 運転時間後、全部のホースと O リングを点検してください。破損している部品はすべて交換してください。

交換部品についてはトロ社代理店にご連絡ください。

すぎタンク固定ベルトの点検

整備間隔: 使用開始後最初の 1 時間-すぎタンク固定ベルトを点検してください。

メインタンクに水を入れ終わったら、タンク固定ベルトにゆるみがないかどうか点検してください。ベルトにゆるみがある場合には、ベルトの上部にある締め具を締めてベルトとタンクとが面一になるようにします。タンク固定ベルトのねじを締めすぎないように注意してください。

重要 ベルトを締め付けすぎると、ベルトが変形したり破断したりする可能性があります。

メモ:

メモ:



Count on it.